



平成 21 年 8 月 26 日

各 位

大正製薬株式会社
日産化学工業株式会社

NT-702 の一部適応症の開発中止について

大正製薬株式会社（本社：東京都豊島区、社長：上原 明）と日産化学工業株式会社（本社：東京都千代田区、社長：木下 小次郎）は、このたび、共同開発中の NT-702 に関して、腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行を予定適応症とする開発の中止を決定しましたのでお知らせいたします。

NT-702は、ホスフォジエステラーゼⅢ阻害作用を主作用とする薬剤です。両社は、腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行を予定適応症とした第2相臨床試験を国内で実施してまいりましたが、臨床試験成績およびこれまでに得られた知見を総合的に検討した結果、本適応を目的とした日本における開発の中止を決定しました。

なお、同薬については、閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行および気管支喘息を予定適応症として第 2 相臨床試験段階にあり、今後はこれら適応症での開発に注力してまいります。

以 上

(ご参考)

腰部脊柱管狭窄症：

背骨の中心にある脊柱管と呼ばれる神経の通る孔が、加齢による骨や椎間板の変形や隣り合う腰椎のずれ（腰椎すべり症）が原因となって狭くなり、脊柱管内の神経圧迫および血流障害により、腰痛、下肢痛、下肢しびれ感、間歇性跛行、排尿障害などの症状を示し、患者さんの日常生活が障害される疾患。

この件に関するお問い合わせ先

大正製薬株式会社 広報室

TEL：03-3985-1115

日産化学工業株式会社 経営企画部

TEL：03-3296-8320